

犬山市障害者支援に関するアンケート 調査結果報告書

平成29年3月

犬 山 市

目 次

I 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査概要	1
3 回収状況	2
4 調査結果の表示方法	2

II 調査結果（身体・知的・精神障害者）

1 調査の回答者について	3
1-1 回答ができない理由	3
1-2 記入者	4
2 ご自身（障害のある方）のことについて	6
2-1 性別	6
2-2 障害者（児）の年齢	7
2-3 居住地区	9
2-4 居住形態	10
2-5 障害手帳の種類	16
2-6 障害の種類	19
3 日常生活について	21
3-1 医療機関にかかる頻度	21
3-2 健康診断の受診状況	23
3-3 健康診断を受けていない理由	25
3-4 主な介助者	27
3-5 相談機関	31
4 入院について	35
4-1 病院・診療所への入院歴	35
4-2 入院する際に困った事	35
5 住まい・暮らし・生計について	37
5-1 住居の形態	37
5-2 暮らしに対する考え	39
5-3 主な収入源	41
6 外出状況について	44
6-1 外出回数	44
6-2 外出の目的	47

6-3	外出時に困ること	49
7	余暇・社会参加について	52
7-1	1年以内にした活動	52
7-2	今後したい活動	55
7-3	就労や就学について	58
8	地域社会との関わりについて	63
8-1	地域社会での障害者に対する配慮	63
8-2	地域社会での障害者に対する差別	65
8-3	地域社会での障害者に対する差別	67
8-4	障害に対する理解のために力を入れるべきこと	69
9	災害発生時の対応について	74
9-1	災害時の避難について	74
9-2	災害時の避難について	76
9-3	避難所で困ること	78
9-4	普段の災害に対する備え	80
9-5	災害情報配信サービスについて	82
10	情報収集や通信機器の利用について	84
10-1	福祉サービスに関する情報の入手先	84
10-2	インターネットの利用について	90
10-3	パソコン等を使う際に困ること	93
11	障害福祉サービス・地域生活支援事業について	96
11-1	障害者サービスの利用について	96
11-2	障害者サービスに対する満足度	102
11-3	地域生活支援事業の利用について	104
11-4	地域生活支援事業に対する満足度	110
12	障害児のサービスについて	112
12-1	障害児サービスの利用	112
12-2	障害児サービスに対する満足度	116
12-3	平日の日中の過ごし方	117
12-4	将来暮らしたいところ	118
12-5	障害児に対する充実させてほしい支援	119
13	将来の生活について	120
13-1	障害者が住みよいまちをつくるために必要なこと	120
14	主な介助者について	125
14-1	性別	125
14-2	年齢	127

14-3	現在の仕事状況	129
14-4	介助年数	131
14-5	介助で大変なこと	133

Ⅲ 調査結果（こすもす園）

1	調査の回答者について	135
1-1	回答者（子どもからみた続柄）	135
2	お子様について	136
2-1	年齢	136
2-2	性別	136
2-3	居住地区	137
2-4	こすもす園以外の通園施設	137
2-5	こすもす園以外の児童発達支援事業所を利用している理由	139
2-6	児童発達支援の利用開始年齢	139
2-7	児童発達支援の利用期間	140
2-8	現在の子どもで気になること	141
2-9	子どもの発達で専門機関等に相談した経験	143
2-10	子どもの発達に関する相談先	144
3	児童発達支援(こすもす園など)について	146
3-1	児童発達支援に通園を決めるまでに悩んだこと	146
3-2	児童発達支援に対する満足度	148
3-3	児童発達支援に通園して良かったこと	149
3-4	児童発達支援に通園して困ったこと	151
3-5	療育や支援で充実してほしいこと	153
3-6	子どもの進路についての相談経験	155
3-7	子どもの進路についての相談機関	156
3-8	子どもの進路についての相談内容	158
3-9	子どものサポートブック「あゆみ」の作成状況	159

Ⅳ 調査結果（一般）

1	ご自身のことについて	160
1-1	性別	160
1-2	年齢	160
1-3	居住地区	161
1-4	居住形態	161
1-5	職業	162
1-6	障害者との接点	163
1-7	障害者福祉に対する関心	165
1-8	障害者福祉に関心がある理由	166

1-9	健康診断の受診状況	168
2	障害のある方への意識について	171
2-1	地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考え	171
2-2	地域社会の障害者に対する差別	173
2-3	差別を感じる時	174
2-4	障害者に対する支援の考え	176
3	障害のある方との関わりについて	178
3-1	障害者を手助けした経験	178
3-2	手助けの内容	179
3-3	障害者に関わるボランティア活動への参加意向	181
3-4	参加したいボランティア活動	183
4	情報収集や通信機器の利用について	185
4-1	福祉サービスに関する情報の入手先	185
5	障害のある方を取り巻く環境について	189
5-1	障害に関する言葉の認知	189
5-2	発達障害の認知	193
5-3	障害福祉サービスの認知	194
5-4	地域生活支援事業の認知	198
5-5	障害児サービスの認知	200
5-6	サービスや支援事業の利用意向	202
5-7	子どもの発達に関する不安	204
5-8	子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援	205
5-9	「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知	206
5-10	障害者の法定雇用率の引き上げについての認知	206
5-11	障害者にとっての犬山市の暮らしやすさ	207
5-12	障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと	208

V 参考資料

調査票（身体・知的・精神障害者）	212
調査票（こすもす園）	221
調査票（一般）	224

VI 自由記述

身体障害者	229
知的障害者	242
精神障害者	249
こすもす園	255
一般	259

I 調査概要

1 調査の目的

本アンケート調査は、犬山市の障害者等に対して、障害者の現状、障害福祉サービス等の利用状況、周知度及び今後の利用意向、現状での問題点や課題事項等を把握し、障害者施策の推進と障害者基本計画策定のための基本資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

【身体障害者手帳所持者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の身体障害者手帳所持者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【療育手帳所持者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の療育手帳所持者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【精神障害者保健福祉手帳所持者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の精神障害者保健福祉手帳所持者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【こすもす園通所者調査】

- ・調査対象者 : 市内在住のこすもす園通所者全員
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

【一般市民調査】

- ・調査対象者 : 市内在住の 20 歳以上の一般市民の中から無作為抽出した 1,000 名
- ・調査期間 : 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 21 日
- ・調査方法 : 一斉郵送

3 回収状況

調査対象者	配布数 (件)	回収票数 (件)	回収率	回答票数 (件)	有効 回収率
身体障害者手帳所持者	2,398	1,664	69.4%	1,538	64.1%
療育手帳所持者	426	263	61.7%	234	54.9%
精神障害者保健福祉手帳所持者	520	303	58.3%	260	50.0%
小計	3,344	2,230	66.7%	2,032	60.8%
こすもす園通所者	103	60	58.3%	60	58.3%
一般市民	1,000	556	55.6%	551	55.1%
合計	4,447	2,846	63.9%	2,643	59.4%

4 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数 (N) を基準とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 本報告書中の表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- ・ クロス集計表において、回答がなかった部分は、件数・割合ともに「-」と表記しています。
- ・ クロス集計上、人数が極めて少ないカテゴリー層については、誤差が大きくなると考えられるため、分析から除外している場合があります。